

「冬期の耕うん+薬剤散布+浅水管理」によるスクミリングガイの体系防除

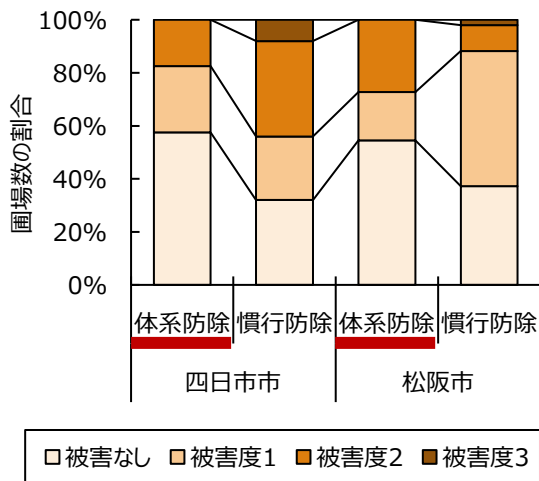
利用対象：県内のスクミリングガイ発生地域で水稻を栽培する生産者

- 県内では、スクミリングガイによる水稻の食害が増加傾向にあります。被害地域では、防除が効果的に行われていない状況にあったため、本県の水田営農の状況に即した体系を構築しました
- スクミリングガイ対策は ①冬期の耕うん+②薬剤散布+③浅水管理 の体系防除が基本です

三重県の作型別・スクミリングガイの基本的防除体系 ・ 作業のポイントが作型ごとに異なります

作型	1. 冬期 耕うんによる密度抑制	2. 移植時期 薬剤散布による食害防止	3. 移植後 浅水管理 (水深 4cm 以下) で食害防止
4 月移植	2 回以上の耕うん 1 回目：厳寒期前 (稲刈り後～12 月) の低速浅耕 2 回目：厳寒期 (1 ～2 月) の通常耕うん	水温 17℃以上の時期に散布	薬剤散布 7 日後～ 移植 3 週目に浅水管理
5 月前半 移植		移植直後に薬剤散布	移植 7 日後～ 移植 2 週目に浅水管理
5 月後半 以降		移植直後に薬剤散布 または 植え代前の石灰窒素散布	

モデル地域においてスクミリングガイに対する体系防除の効果を実証



2021 年 6 月調査。被害度は 1 筆の被害面積の割合
1: 1/10 未満、2: 1/10 以上～1/4 未満、3: 1/4 以上

各地域 5ha で体系防除を実施したところ、
慣行防除の圃場よりも被害が軽減されました



- 本体系防除は同一水系の地域全体で実施すると、**高い防除効果が得られます**
- モデル地域の農業法人および農事組合法人における体系防除実施に必要なコストは
掛かり増し経費 7874～11661 円/10a
作業時間 0.6～3.1 時間/10a 増加
と、見積もられます

お問い合わせ先	基盤技術研究室 農産物安全安心研究課 田中千晴 電話 0598-42-6360 生産技術研究室 地域連携研究課 飯場聡子 中央農業改良普及センター 田畑茂樹 電話 0598-42-6323
参考になる資料	(三重県版マニュアルを掲載) 農水省 スクミリングガイの被害防止対策について https://www.maff.go.jp/j/syuan/syokubo/gaicyu/syokubo_seika/syokubo_seika.html 三重県農薬情報管理システム https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie